



乳がんの治療について

京都大学医学部附属病院乳腺外科
戸井 雅和先生



集学的治療

手術

化学療法

放射線治療

ホルモン療法

抗HER2療法

集学的治療

手術

化学療法

放射線治療

ホルモン療法

抗HER2療法

病期

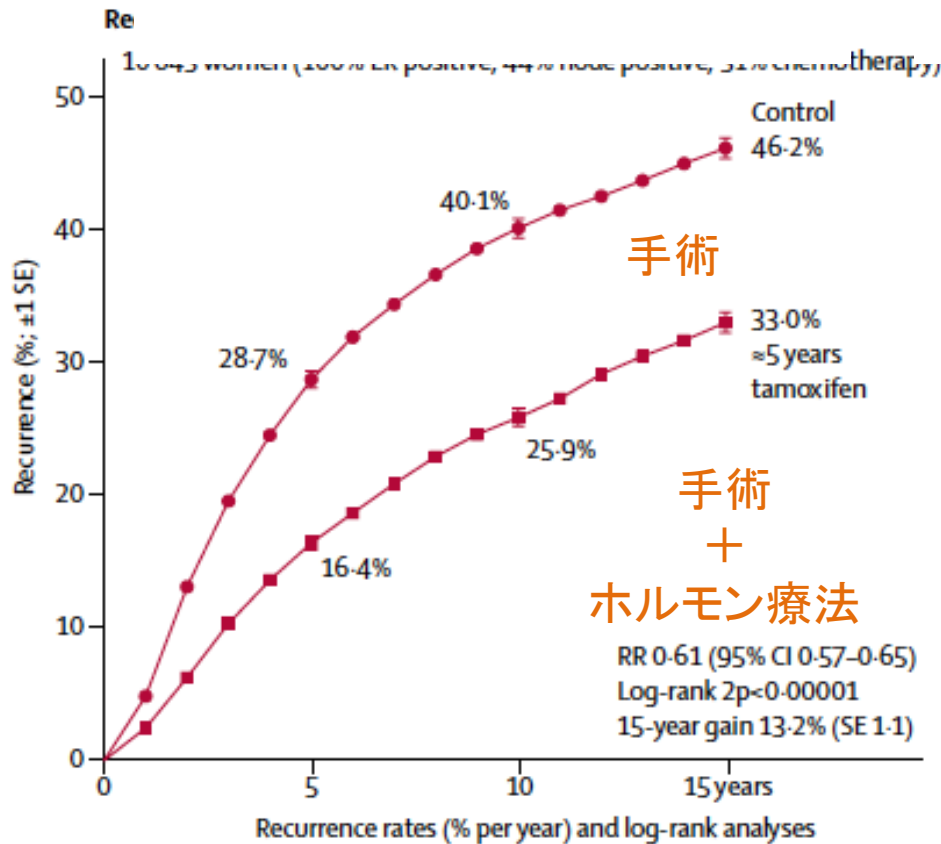
特性

Q1

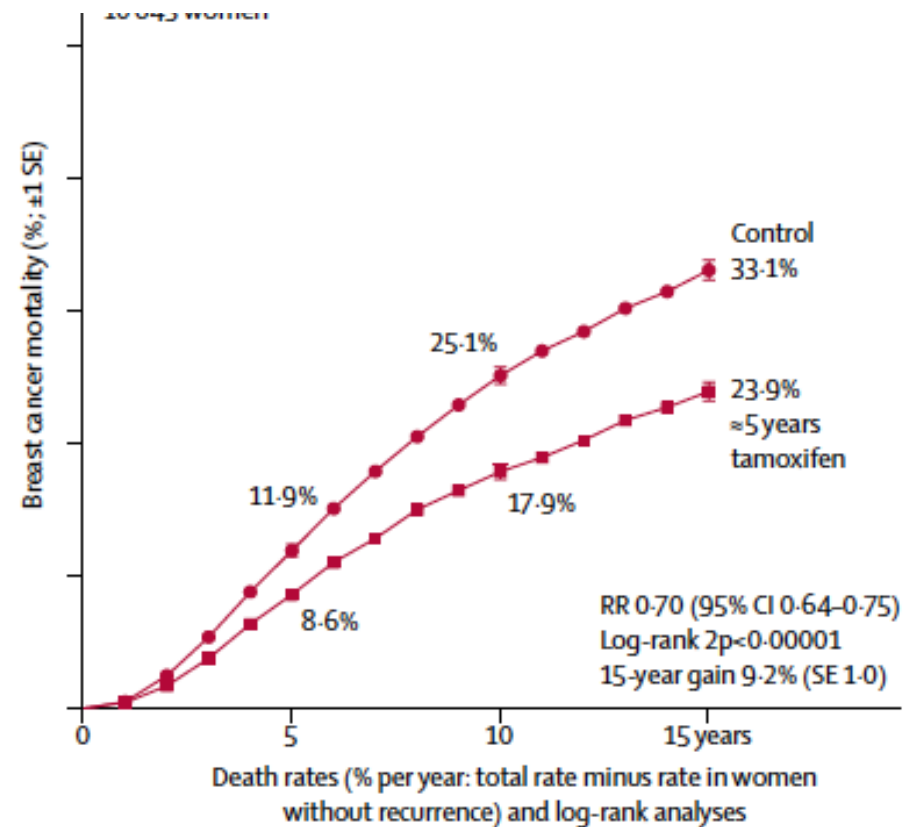
- 手術療法の成績はどれくらい？

ホルモン受容体陽性乳がん

再発率



死亡率



Q1

- 手術療法の成績はどれくらい？

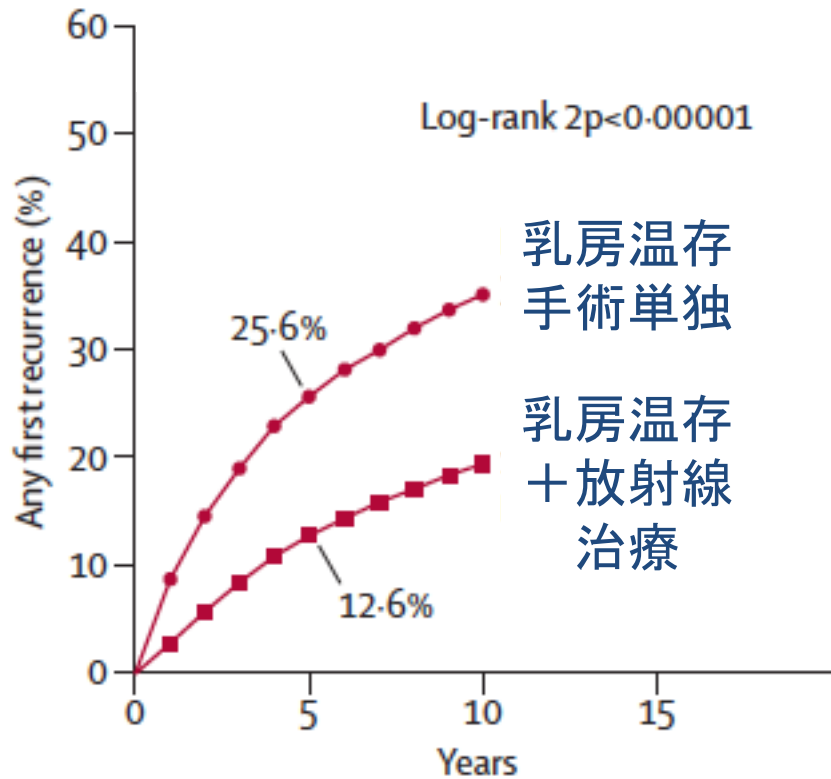
手術局所療法単独（全身療法はなし）でも治癒が期待できる浸潤性乳がんは少なくない。

Q2

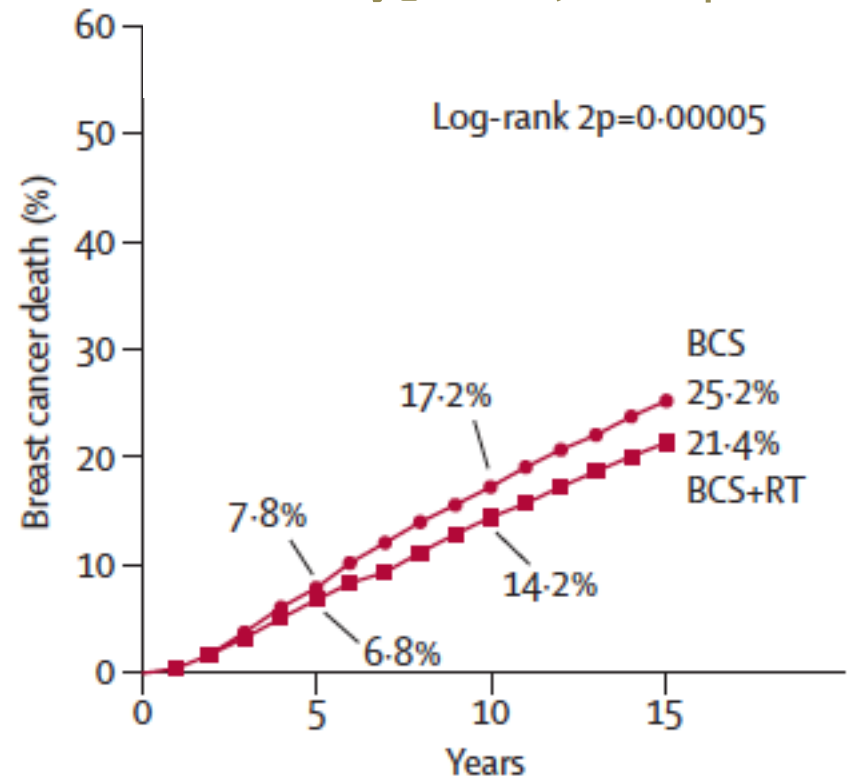
- 放射線治療の役割は？

乳房温存手術後の放射線治療の効果

再発率



乳がん死亡率



10 801症例 女性乳がん(67%リンパ節転移陰性)
17 無作為化比較臨床試験

乳房切除術後の放射線治療について

NCCN ガイドライン2013

(全)乳房切除
腋窩診断
+/-乳房再建術

リンパ節転移なし
5cm以下の腫瘍
切除断端 1mm以上

放射線治療なし

リンパ節転移なし
5cm以下の腫瘍
切除断端 1mm以下

胸壁への照射を検討

乳房切除術後の放射線治療について

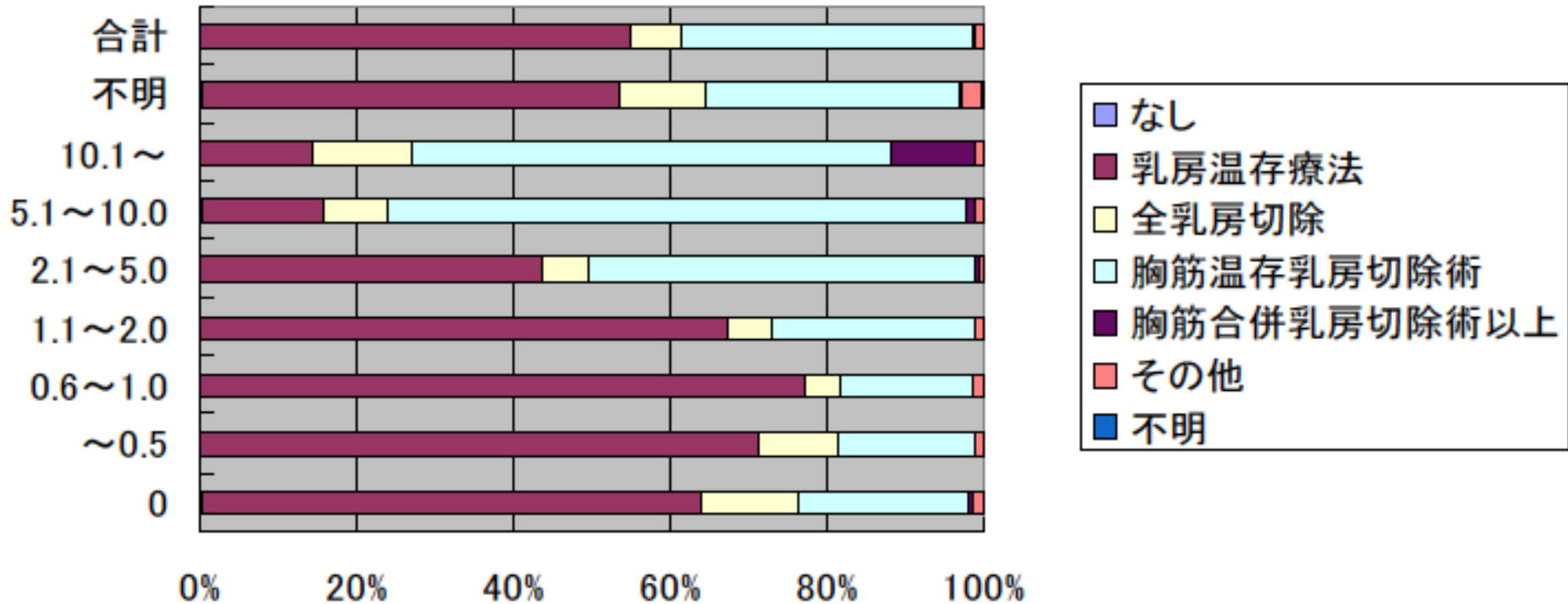
NCCN ガイドライン2013

(全)乳房切除
腋窩診断
+/-乳房再建術

リンパ節転移なし <u>5cm以上の腫瘍</u> or <u>切除断端 陽性</u>	胸壁+/- 鎖骨上リンパ節 内胸リンパ節への照射
1-3個のリンパ節転移	胸壁、鎖骨上リンパ節 内胸リンパ節への照射 の考慮を強く推奨
4個以上のリンパ節転移	胸壁、鎖骨上リンパ節 内胸リンパ節への照射

日本における乳がん手術2011

腫瘍の大きさと術式



原発乳がんの手術

St Gallen コンセンサス会議 2013

乳房温存手術を考慮する場合、以下の因子を有する患者は禁忌とする

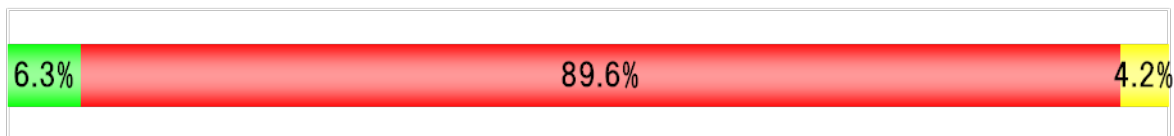
When considering breast conserving surgery the following factors are contraindications

若年(35歳未満)

Young age (<35 yr)

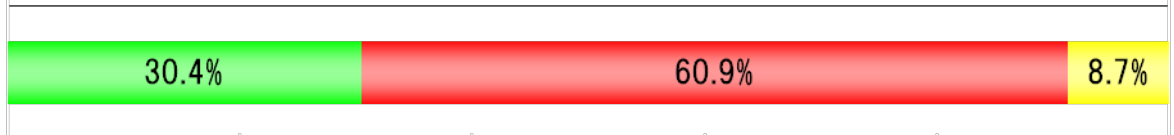
絶対的

Absolute



相対的

Relative

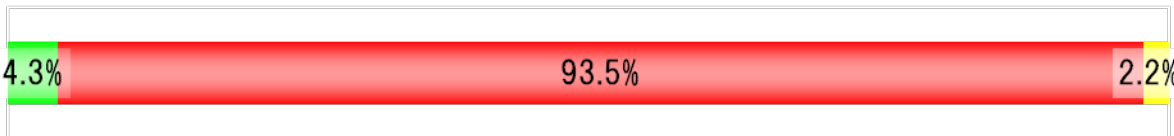


若年(40歳未満)

Young age (<40 yr)

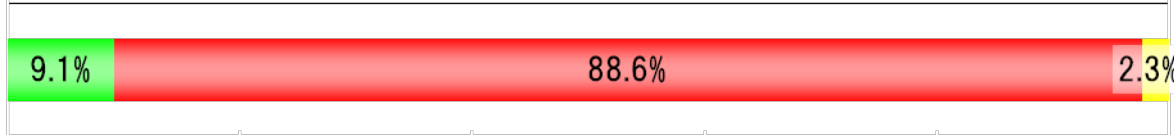
絶対的

Absolute



相対的

Relative



はい YES



いいえ NO



無回答

Abstention or I don't know

原発乳がんの手術

Surgery of the Primary

乳房温存手術を考慮する場合、以下の因子を有する患者は相対的禁忌とする

When considering breast conserving surgery the following factors are relative contraindications:

家族歴

Family history



BRCA1陽性

BRCA1 positivity



BRCA2陽性

BRCA2 positivity



St Gallen コンセンサス会議2013

腋窩手術

Surgery of the Axilla

1～2個のセンチネルリンパ節にマクロ転移を認める患者では、
以下を実施した後は腋窩郭清を行わなくても問題ないか？

In patients with macrometastases in 1-2 sentinel nodes, completion axillary dissection can safely be omitted following:

乳房切除術
(放射線療法を予定)
Mastectomy (radiotherapy planned)



温存切除および
放射線療法
Conservative resection and radiotherapy



■ はい YES ■ いいえ NO ■ 無回答 Abstention or I don't know

腫瘍進展
の程度

患者希望

生物学的特性
がんの性格
(予後)

治療効果
(術前治療)